

■第3回花巻市男女共同参画審議会及び関係団体からの意見に係る検討結果

令和5年度第3回花巻市男女共同参画審議会（8月29日開催）で委員の皆さまからいただいたご意見と、それに対する検討結果を以下のとおりまとめたもの。

No.	頁	該当箇所	審議会委員からの意見	意見に対する検討結果
1	5 5 2 6 5 6 6	【第3次計画骨子案】 基本目標4 「誰もが被害者・加害者にならないための暴力の防止と根絶」	<p>・基本目標は計画の柱であり、<u>性の視点や関係性のあるパートナー間の暴力であるという</u>ことが分かりやすい表記にしたほうが良い。 （渡邊委員/公募）</p> <p>・「<u>DVと性暴力の防止と根絶</u>」など、分かりやすくはっきりした方が良い。 （早野副会長/いわて男女共同参画サポーター）</p> <p>・<u>見た人に一目で趣旨が伝わる表現にすべき</u>。内容は変えなくとも、言い回しは変えた方が分かりやすいのではないかと。 （小田島委員/商工会議所）</p> <p>・本計画は8年間のものであり、性に関する犯罪について新たなものが加わってきたり、多様性の考え方についてもさらに広がるであろうことを考えると、原案どおりの方が良いのではないかと。 （高橋会長/富士大学名誉教授）</p> <p>※上記のほか、複数の委員から「事務局の考えは説明を受ければ理解できるが、一方で、<u>分かりやすい表現にした方が良いという考えも理解できる</u>」というご意見が出された。</p>	<p>基本目標については、一見して何が言いたいのか分かりやすくすべきというご意見が多かったことから、委員からの意見を踏まえ、「<u>DVと性暴力の根絶</u>」とすることとしたい。</p> <p>【参考】 国 ・女性に対するあらゆる暴力の<u>根絶</u> 県 ・女性に対するあらゆる暴力の<u>根絶</u> ※「<u>DVと性暴力の防止と根絶</u>」とご意見をいただいていたが、国、県ともに<u>根絶</u>という表記であることも踏まえ、それに合わせる意味でも修正したいもの。</p>

1	5 5 2 6 5 6 6	<p>【第3次計画骨子案】</p> <p>基本目標4</p> <p>「誰もが被害者・加害者にならないための暴力の防止と根絶」</p>	<p>【参考：関係団体からの意見聴取でのご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標4について、「誰もが」と言ってしまうと、誰に対して防止して、誰に気を付けてほしいのかということが薄まるので、例えば「性別や年齢に関わりなく」とした方が分かりやすいと思う。 (男女共同参画推進員) ・基本目標4の文言は、「誰もが」ではなく「性別、年齢を問わず」というのがいいと思う。 (男女共同参画推進員) ・基本目標4の文言は、「誰もが」ではなく変えた方がいいと思う。 (男女共同参画推進員) 	
2	5 4 ～ 5 5	<p>【第3次計画骨子案】</p> <p>基本目標1</p> <p>一人ひとりを尊重し合う意識づくり</p> <p>(3)性に関する理解の促進と生命の尊重</p>	<p>基本目標1から「デートDV」はあえて削除しなくても良いのではないかと考えるが、削除したのはどういった理由からか。 (早野副会長/いわて男女共同参画サポーター)</p>	<p>【審議会(8/29)での事務局説明】</p> <p>第3次花巻市男女共同参画基本計画では、基本目標4を国の「配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」第2条の3第3項の規定に基づく「市町村基本計画」として「花巻市配偶者暴力防止対策基本計画」に位置づけていることから、デートDVに関することを基本目標4に集約することとして考えたもの。</p> <p>【審議会後の検討】</p> <p>上記のように考えて、基本目標1から削除したものだだったが、委員からご意見をいただいたこと、削除せずとも主旨が変わるものではないことから、再度、<u>基本目標1にデートDVについて、下記のとおり記述すること</u>としたい。</p>

				「～特に若年層においては、 <u>デートDV</u> や性犯罪など性をめぐる問題が拡大しています。」
3	55 60	【第3次計画骨子案】 基本目標1 一人ひとりを尊重し合う意識づくり (3)性に関する理解の促進と生命の尊重 5行目「男女が互いの <u>身体的性差</u> を十分に理解し合い、～」	多様な性という考え方からすると、「性差を理解」という表現は適切ではないのではないか。花巻市男女共同参画推進条例第3条（基本理念）第6項には「互いの性に関する理解を深め」とある。「性差を理解」するのではなく、「互いの性に関する理解を深め」にした方が、多様な性を認めるという今の流れの中では、より適切なのではないか。 (渡邊委員/公募)	「男女が互いの身体的性差を理解し合う」という表現は国・県の計画にも掲載されており、国・県の計画を勘案することから、表現としては問題がないものと考えているが、計画の策定根拠である花巻市男女共同参画推進条例に合わせた方がいいというご意見であることから「 <u>男女が互いの性に関する理解を深め</u> 」に修正することとしたい。
4	60	【第3次計画骨子案】 基本目標2 誰もが安心して暮らし、多様な生き方ができる社会づくり (5)生涯を通じた女性の健康支援	セクハラや、性被害者への第2次被害があるという背景には、性と生殖に関する健康と権利についての無理解がある。基本理念には「(6)性と生殖に関する健康と権利」があるものの、リプロ(※)に関する理解が進んでいないことから、基本目標2「(5)生涯を通じた女性の健康支援の施策の展開」に、②として「性と生殖に関する健康の権利と理解の促進」を加えた方が良いのではないか。 (渡邊委員/公募) ※リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)中心課題には、いつ何人子供を産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足いく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つ	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)については、国の第5次男女共同参画基本計画及び県のいわて男女共同参画プランにも考え方が含まれている。また、健康はなまき21プランの妊娠・出産等に関する考えと目指す方向性は同じと考えることから、それらの記述を参考にして当市の計画案、基本目標2「誰もが安心して暮らし、多様な生き方ができる社会づくり」の施策の方向「(5)生涯を通じた女性の健康支援」に下記のとおり <u>追記</u> するとともに、 <u>施策の展開についても②妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及</u> と追記することとしたい。

			<p>ことなどが含まれている。また、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されている。</p>	<p>(追記案) 下線部について追記</p> <p>(5) 生涯を通じた女性の健康支援</p> <p>男女があらゆる場面でともに参画するためには、男女が互いの性に対する理解を深め、人権が尊重される社会・環境づくりが必要です。</p> <p><u>生涯にわたり男女は異なる健康上の問題に直面することに男女ともに留意する必要があることから、関係機関と連携を取りながら、情報提供等を通じて支援を行います。</u></p> <p>特に女性は、生涯を通じて心身の状況が大きく変化する特性があることから、「<u>リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)</u>」の視点が殊に重要です。女性が体力的・気力的に安心して活動することができるよう、妊娠・出産に対する支援や婦人科検健診の実施などライフステージに応じた切れ目のない心身の健康支援を行います。</p>
5	146 ～ 191	<p>【第3次計画骨子案】</p> <p>資料 8 第3次花巻市男女共同参画基本計画策定のためのアンケート調査 (市民意識調査) 報告書 (案)</p>	<p>市民意識調査の自由記述にいろいろなご意見をいただいているが、花巻市のポリシーとしては書いたものはそのまま載せるものとして、外部に見せて良いものという捉え方でいいのか。</p> <p>(沼田委員/花巻市校長会)</p>	<p>【審議会 (8/29) での事務局説明】</p> <p>市民参画の手法の一つとして行った調査であるため、アンケート (市民意識調査) の結果については公表することとしている。本日、委員の皆さまに提示した資料は、個人が特定されるようなもの等を除いたものであるが、計画として公表する際にどの程度載せるかということについて、検討さ</p>

				<p>せていただく。</p> <p>【審議会後の検討】</p> <p>第2次計画策定時のアンケート（市民意識調査）報告書では自由記載を掲載していないことと、市民参画ガイドラインにおいても公表する内容について自由記載の内容は求めていることから、今回も<u>公表する際には自由記載の記述は掲載しないこととする。</u></p>
--	--	--	--	--

【参考】関係団体からの意見聴取での意見と地域づくり課の考え方

No.	頁	該当箇所	関係団体からの意見	意見に対する検討結果
1	1	計画の副題 「だれもがお互いを尊重し、みんなが住みよいまち」	<p>【関係団体からの意見聴取】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の副題について、「だれもがお互いを尊重し」とあるが、<u>この計画はジェンダー平等に関する計画であり、このような表現でいいのか。「だれもが」の前に「性別や年齢や障がいのあるなし等に関わらず」といった文言が必要ではないか。</u> <p>(女性センターを実現する会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の副題が「男女(みんな)が互いに認め合い、ともにきらめくまち」から「だれもがお互いを尊重し、みんなが住みよいまち」に変わり、具体的なものになっていいと思った。 <p>(男女共同参画推進員)</p>	<p>基本理念(p48)にあるとおり、「男女」にとどまらず、年齢、国籍、性的指向、ジェンダーアイデンティティなど、多様性を認め合う男女共同参画社会の形成が不可欠」という認識のもと、第3次計画の策定を進めている。第2次計画では「男女(みんな)」としていたものを「だれもが」に変更し、多様性を意識した計画の副題としていることから、修正は行わないこととしたい。</p> <p>【左記のほか、関係団体からの意見聴取での関連意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を推しすぎると、ジェンダー平等が薄まるのではないかと懸念する。配慮しすぎることによって、問題の本質が薄くなる。 <p>(男女共同参画推進員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性というのも大事だが、仕事のことなどを考えると役割はある程度必要だと思っており、多様性という部分が多すぎるように思う。 <p>(男女共同参画推進員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男と女だけじゃないという雰囲気がよく出ている計画となっており、非常にいいと思った。 <p>(男女共同参画推進員)</p>

2	5 5 0 5 6	<p>【第3次計画骨子案】</p> <p>基本目標2「誰もが安心して暮らし、多様な生き方ができる社会づくり」</p>	<p>・基本目標2の表現について、いわゆる普通の地域づくりの話と捉えられるのではないかと思う。 (男女共同参画推進員)</p>	<p>基本理念(p48)にあるとおり、「男女」にとどまらず、年齢、国籍、性的指向、ジェンダーアイデンティティなど、多様性を認め合う男女共同参画社会の形成が不可欠」という認識のもと、第3次計画を策定している。第2次計画では「男女」としていたものを「誰もが」に変更し、多様性を意識したものであることから、修正は行わないこととしたい。</p>
3	5 5 0 6 1	<p>【第3次計画骨子案】</p> <p>基本目標3「多様な働き方と<u>男女</u>のワーク・ライフ・バランスの推進」</p>	<p>・基本目標について、以前は全てに「男女」という文言が入っていたが、第3次計画では基本目標3だけに「男女」と入っている。「男女」という文言をなくすのであれば、基本目標3からも除いていいと思う。 (男女共同参画推進員)</p>	<p>基本目標3について、骨子案に「男女」を含む箇所と含まない箇所が混在していた。女性活躍、男性の家事・育児参画等を踏まえ、あえて「男女」を残すという考えもあるが、多様性の考え方から「男女」という言葉は含まないものだったことから、「男女」という言葉を削除し、「<u>基本目標3 多様な働き方とワーク・ライフ・バランスの推進</u>」としたい。</p>
4	6 1 ～ 6 5	<p>【第3次計画骨子案】</p> <p>基本目標3「多様な働き方とワーク・ライフ・バランスの推進」</p> <p>(2) 仕事と子育ての両立支援</p>	<p>・親に対しての子育て支援も大事だが、ヤングケアラーに対する内容も基本目標3の中に入れられればいいと思う。 (花巻市地域婦人団体協議会)</p>	<p>ヤングケアラーについては、ひとり親世帯や若者といった男女共同参画基本計画の中の分類の中に入れ込むことは難しく、もっと広い考えの中で取り組んでいくものと考えている。</p> <p>昨年度策定した保健福祉総合計画の中には市として取り組むことを記述しているため、男女共同参画基本計画の中にはヤングケアラーについて記述しないものの、市としては保健福祉総合計画に基づいて、ヤングケアラーやヤングケアラーを抱える世帯への支援に取り組んでいくものである。</p>

5	<p>【第3次計画骨子案】 全体について（用語について） 「ジェンダー」、「ジェンダーバイアス」について</p>	<p>・基本目標の下の基本的方向にでもいいので、ジェンダーという言葉が入っていた方がいいと思う。 （男女共同参画推進員）</p> <p>・ジェンダーバイアスを解消するような記載がない。例えば、ワーク・ライフ・バランスのところに、事業所に対してジェンダーバイアスを解消するような啓発をすることが必要だと思う。 （男女共同参画推進員）</p> <p>※「ジェンダー」という言葉は、社会的・文化的に形成された性別という意味であり、第1章 基本的事項 第1節 計画の社会的背景（P8）に用語解説を設けている。また、「ジェンダーバイアス」はジェンダーに基づく偏見や、そのために社会的評価や扱いが差別的になることをいう。</p>	<p>■「ジェンダー」、「ジェンダーバイアス」について</p> <p>第3次計画には「性別に関わらず多様性を認め合う視点を持ち、男女共同参画を進める」というジェンダー平等の考え方を既に含んでいることから、「ジェンダー」、「ジェンダーバイアス」という言葉の追加は行わない。ただし、ジェンダー平等の考え方を含んでいるということを明確に示すため、第3次計画素案の冒頭（P2）、第1節 基本理念と第2節 基本目標との間（P49）に下記のとおり「<u>花巻市における男女共同参画</u>」という項目を追記することとしたい。</p> <p>追記案【花巻市における男女共同参画】</p> <p>SDGsでは、ジェンダー平等の実現と女性・女児の能力強化はすべての目標とターゲットにおける進展について死活的に重要な貢献をするものとされており、ジェンダー平等には、男女に限らず性的マイノリティを内包する考えが示されています。</p> <p>ジェンダー平等については、国の第5次男女共同参画基本計画の基本的な方針の中で「男女共同参画社会の実現に向けて取組を進めることは、『男女』にとどまらず、年齢も、国籍も、性的指向・ジェンダー・アイデンティティに関すること等も含め、幅広く多様な人々を包摂し、全ての人々が幸福を感じられる、インクルーシブな社会の実</p>
---	--	--	---

			<p>現につながるものである。」とされています。</p> <p>こうした考えのもと、花巻市では、性別に限らず多様性を認め合う視点を持った男女共同参画社会の形成に向けて、この計画を進めていくものです。</p> <p>■事業所への「ジェンダーバイアス」解消の取組を基本目標3に追加することについて</p> <p>基本目標3ではないものの、基本目標2「(3)労働の場における男女共同参画の促進」には施策の展開として「①事業所への男女共同参画に関する啓発」があり、第3次計画の中に既に含まれていることから、修正は行わないこととしたい。</p>
--	--	--	---